

農地を守るための取り組みを問う



さかもと きみあき
坂本公明議員



議員 耕作放棄地（主に水田）の実態と見通しについてたずねる。

市長 市の水田面積は803haで放棄地は113ha（14・1％）となっている。相続による市外農地所有者の増加と高齢化や後継者不足により放棄地は増加傾向にある。

議員 耕作放棄者の指導と効果は。

市長 所有者に意識調査をしたところ、保全管理意識が高まった。面積や進入道路が優良で耕作意欲のない農地は別途協議を行う。

議員 農業後継者の育成について。

市長 県就農相談会において就農者の確保に努め、農地の確保や農業技術の指導に心がけている。

議員 耕作放棄地の解消と防止についてたずねる。

市長 トラクター接続の大型草刈機、自走式草刈機、竹破砕機の貸出を行い、圃場整備や有害鳥獣対策等の活用により防止に努める。

議員 農地集約化や放棄地の解消に農地中間管理機構制度の活用は。

市長 北川地区をモデルケースとして機構と協議し、農地中間管理事業により農地を集積し、荒廃農地の解消、発生防止に努める。

議員 今後、耕作放棄地は益々増えており、解消には程遠い。増やさないためには担当課、農業委員会、地権者や関係者が一致協力して、方向性を示すことが望ましい。

幼保の問題はわたしたちの問題



にしな ふみひで
仁科文秀議員

議員 私は、小さい子どものうちは地元地域で地域住民の愛情を受けて育つことが一番だと思う。適正規模は、3歳以上で20名いれば十分だと考える。

横江幼稚園は「子どもたちは地域の宝」と考え、深い絆のもと、地域の人々と手を取り合って歩んできた。ポスター700枚を作り、地域が一丸となって園の存続を求め、今後も園児の確保に力を入れる計画である。このような園があることを知っていただきたい。

市長 皆様がともに取り組もうと考えている対応、20名でどうかということも真摯に受けとめて、子ども部あるいは全庁でしっかりと議論した上で、具体的に地域と意見交換をさせていただきたい。

高齢者タクシースチケットをより便利に



議員 最近は無許証返納を考える人が増えている。高齢者は、市民税非課税の人であってもなくても移動手段には等しく不便を感じている。市民税非課税の項目をなくせないか。

市長 今年度、1乗車につき最大2枚まで利用できるようになり、7月末現在で利用数は前年度比1・8倍となっている。今後とも、利便性が高く健康増進に寄与する制度に変えていく。

住民税課税者にも一定の条件のもと利用いただけるよう、来年度の事業実施に向けて、前向きに検討してまいりたい。

議員 高齢者にやさしい福祉のまち笠岡として、ぜひ制度を進めていただきたい。